

- 問1 明治時代の生活の変化を描いた資料において、庶民の間に広まった新しい食習慣と、それまでの行灯（あんどん）に代わって天井や柱に設置されるようになった照明器具の組み合わせとして、適切なものはどれですか。（2022年 広島県公立入試 類似）
1. 刺身とろうそく                      2. 蕎麦とガス灯                      3. 牛鍋とランプ                      4. すき焼きと囲炉裏
- 
- 問2 明治から大正期にかけての日本の学術・文化の発展に関連して、人物とその活躍した分野の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2020年 沖縄県公立入試 類似）
1. 樋口一葉 — 美術                      2. 北里柴三郎 — 医学                      3. 黒田清輝 — 文学                      4. 高村光太郎 — 音楽
- 
- 問3 日清戦争後の講和条約である下関条約において、日本は清から領土の割譲を認められましたが、これに対してロシア・ドイツ・フランスの3国が介入し、獲得した地域を清に返還するよう要求した「三国干渉」が起こりました。当時の外交当局者の日記には、列強の圧力に屈して要求を受け入れざるを得なかったことへの無念さが綴られています。この三国干渉によって日本が返還を余儀なくされた地域と、その後の日本国内の動向について述べた文として正しいものはどれですか。（2023年 北海道公立入試 類似）
1. 遼東半島を返還し、ポーツマス条約の締結に向けてアメリカに仲裁を依頼する外交方針へと転換した。                      2. 樺太（サハリン）を返還し、清との間で新たな共同統治に関する合意が形成された。                      3. 遼東半島を返還し、国内ではロシアへの対抗意識が高まって「臥薪嘗胆」を合言葉に軍備拡張が進められた。                      4. 山東半島を返還し、対立を避けるためにロシアとの間で直ちに日英同盟が締結されるきっかけとなった。
- 
- 問4 板垣退助らが「民撰議院設立の建白書」を政府に提出した背景にある理由として、最も適切なものはどれですか。（2018年 茨城県公立入試 類似）
1. 特定の藩の出身者による藩閥政治を批判し、民意を反映する場を設けるため                      2. 下関での外国船砲撃事件に対する謝罪として、海外に有利な不平等条約を結ぶため                      3. 大塩平八郎の乱のような武力による政府転覆を阻止し、徳川幕府を再建するため                      4. 廃藩置県によって失業した武士たちが、再び自分たちの領地を取り戻すための特権を認めるため
- 
- 問5 1895年の下関条約から1914年の第一次世界大戦勃発までの時期に結ばれた、日露戦争の講和条約に関する記述として、その背景や内容が正しいものはどれか。（2023年 香川県公立入試 類似）
1. 清との間で締結され、遼東半島の割譲を認めたが、その直後にロシア・ドイツ・フランスによる三国干渉を受けた。                      2. アメリカのポーツマスで締結され、日本はロシアから旅順・大連の租借権を継承し、韓国への指導権を確立した。                      3. 日清戦争の勝利を受けて締結され、日本は多額の賠償金を得て、それを元手に八幡製鉄所を建設した。                      4. 第一次世界大戦の最中に締結され、日本は中国に対して山東省の権益を譲り渡すよう要求した。
- 
- 問6 明治時代の工部省による技術者養成について、1882年時点の卒業生の進路をまとめたデータでは、卒業生116名のうち67名が工部省の技術職員となり、他にも教員になった者やイギリスへ留学した者が確認できます。この教育課程の推移と特徴について説明したものとして正しいものはどれですか。（2025年 宮城県公立入試 類似）
1. 卒業生のほとんどは官職に就くことを拒み、民間の紡績工場などで単純作業の指導にあたった                      2. 外国人教師による授業はすべて日本語で行われ、日本人による授業への交代は明治時代を通じて行われなかった                      3. 外国人教師の指導は基礎的な手作業に限定されており、高度な学問的知識の習得は禁止されていた                      4. 当初は外国人教師から英語で専門的技術を学び、後に卒業生が教員となって後進を育成する流れが作られた
- 
- 問7 明治初期、欧米諸国の制度や考え方が急速に取り入れられた「文明開化」の時期に、福沢諭吉が「独立自尊」の精神を強調した背景として最も適切な理由はどれですか。（2024年 宮城県公立入試 類似）
1. 天皇を中心とした中央集権体制を整えるために、個人の自由を制限すべきだと考えたから。                      2. 個人の自立こそが、列強諸国に対抗できる近代国家をつくるために不可欠だと考えたから。                      3. 武士が中心となって政治を行う江戸時代の仕組みを、より強化する必要があると考えたから。                      4. 海外との不平等条約を改正するために、武力による他国への威圧を優先すべきだと考えたから。
- 
- 問8 1904年に始まった日露戦争は、翌1905年にアメリカの仲介によって講和条約が結ばれました。この条約において、ロシアが日本に対して認めた内容のうち、1906年の南満洲鉄道株式会社の設立に直接つながったものはどれですか。（2019年 山形県公立入試 類似）
1. 樺太（サハリン）の全土を日本の領土として日本にゆずること                      2. 長春から旅順・大連間にいたる鉄道の利権を日本にゆずること                      3. 清の北京から山海関にいたる鉄道の管理権を日本にゆずること                      4. 戦争でかかった多額の戦費を賠償金として日本に支払うこと
- 
- 問9 明治維新から高度経済成長期までをまとめた略年表において、1873年の徴兵令公布から1895年の下関条約締結までの間に発生した、日本の近代史上、武力による最大の士族反乱とその背景の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2018年 高知県公立入試 類似）
1. 薩摩藩がイギリスと戦った薩英戦争であり、生麦事件の賠償問題をめぐる対立が背景にある。                      2. 西郷隆盛を指導者とした西南戦争であり、徴兵制の導入など士族の特権を奪う政府の政策への不満が背景にある。                      3. 徳川慶喜を支持する旧幕府軍が起こした戊辰戦争であり、王政復古の大号令による政権奪取への抵抗が背景にある。                      4. 明治政府がロシアと戦った日露戦争であり、朝鮮半島や満洲の支配権をめぐる対立が背景にある。
- 
- 問10 日清戦争の講和条約である下関条約において、日本は朝鮮の独立を認めさせたほか、清から複数の領土を譲り受けました。しかし、その直後にロシア・ドイツ・フランスの3国から「東洋の平和に害がある」との名目で、日本に対して返還を要求された地域はどこですか。（2017年 愛知県公立入試 類似）
1. 遼東（リャオトン）半島                      2. 澎湖（ほうこ）諸島                      3. 台湾                      4. 山東（シャントン）半島
- 
- 問11 自由民権運動が高まる中で、民衆が政府に対して「国会の開設」を強く要求した背景にある、当時の政治状況の説明として最も適切なものはどれですか。（2019年 群馬県公立入試 類似）
1. 特定の藩の出身者が権力を独占する専制的な政治が行われていたため                      2. 天皇自らがすべての政治決定を行う親政体制が確立されていたため                      3. 地方の農民が地租改正に反対して武装蜂起を繰り返していたため                      4. 外国との不平等条約を改正するために国民の同意が必要だったため
- 
- 問12 1871年に断行された廃藩置県によって中央集権化を進めた明治政府に対し、板垣退助らは1874年に「民撰議院設立の建白書」を提出しました。彼らがこの建白書を通じて批判し、改善を求めた当時の政治状況の説明として最も適切なものを選んでください。（2022年 栃木県公立入試 類似）
1. 天皇による直接の統治を否定し、欧米諸国のような完全な共和制へ移行しようとする動き                      2. 江戸幕府の旧幕臣たちが中心となって進めていた、徳川家を再興しようとする政治体制                      3. 薩摩藩・長州藩などの出身者が政治の実権を握り、独裁的に政治を行う「藩閥政治」の現状                      4. 武士の特権を完全に廃止し、農民の税負担を大幅に軽減することを最優先とする政策